

歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和元年7月11日

独立行政法人水資源機構
千葉用水総合管理所
所長 宮下 武士

1. 目的

この歩掛参考見積の募集は、当管理所が予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における平成 31・32 年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 当機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、利根川水系及び荒川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

- (1) 参考見積書は作業項目毎に必要な技術者、資機材の人数等を記載して提出して下さい。
なお、参考見積書の様式は問いません。
- (2) 提出期間 令和元年7月22日（月）から令和元年7月26日（金）まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで
- (3) 提出場所
独立行政法人水資源機構 千葉用水総合管理所 所長 宮下 武士 宛
【担当】管理課 審査係 松橋 輝明
〒276-0028 千葉県八千代市村上3139
TEL047-483-0722 FAX047-483-0709
- (4) 提出方法
書面は持参、郵送、FAX（社印があること）により提出するものとします。

4. 参考見積内容

(1) 基本条件

- ① 本歩掛参考見積は、東総用水施設、成田用水施設及び北総東部用水施設において、アスベスト含有吹き付け材を使用している施設について、劣化状況調査及び室内環境等における石綿粉じん濃度測定を行うものです。
- ② 見積もりする員数は、単位数量当たりとし、数量の増減に伴う補正及び複数検討する場合の複合補正が必要な場合は、その補正方法を記載するものとします。

【例】

単位数量当たり歩掛に対する補正： $○○ \times n + \triangle\triangle$ （n:対象数量）

③ 見積項目は次の示す区分別に「(4)作業項目、作業内容」毎に作成するものとします。

項 目	区 分 別	単 位
計画・準備	計画・準備	式
劣化状況調査	(2)に示す施設	m ²
室内環境における濃度測定	(2)に示す施設	施設
調査結果とりまとめ	調査結果取りまとめ	式

④ 石綿粉じん調査の準拠基準は、次に示すものとします。

- ・ 既存建築物の吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理具術指針・同解説
(一般財団法人日本建築センター)
- ・ 室内環境等低濃度レベルにおける測定 (一般財団法人日本建築センター)
- ・ アスベストモニタリングマニュアル【第4.0版】 (環境省)
- ・ 平成元年12月27日告示第93号に基づく測定 (環境省)
- ・ 県有施設の吹付けアスベスト対策マニュアル
(千葉県アスベスト問題対策会議平成19年3月改訂版)

⑤ 参考見積書の有効期間は令和2年3月31日までとします。

⑥ 参考見積書の提出年月日を記入するものとします。

(2) 調査場所

施 設 名	施 設 場 所	吹付けロックウール 使用部位 (調査箇所)	備考
東庄揚水機場	千葉県香取郡東庄町 笹川	ポンプ室 (天井・壁)	—
海上加圧機場	千葉県旭市岩井	ポンプ室 (天井・壁)	—
新川揚水機場	千葉県成田市新川	ポンプ室 (天井・壁)	地上1階地下1階
高田加圧機場	千葉県山武郡芝山町 高田	ポンプ室 (天井)	—
九十九塚揚水機 場	千葉県香取市高萩	ポンプ室 (天井) 電気室 (天井)	—

(3) アスベスト分析結果及び吹付けロックウールの使用数量

項 目	クリソタイル (wt%)	アモサイト (wt%)	クロシドライト (wt%)	吹付けロックウール 使用量 (m ²)
東庄揚水機場	3.2	不検出	不検出	約 1,230
海上加圧機場	2.2	不検出	不検出	約 160
新川揚水機場	1.2	不検出	不検出	約 1,950
高田加圧機場	2.0	不検出	不検出	約 540
九十九塚揚水機 場	4.2	不検出	不検出	約 280※

※ポンプ室及び電気室合計

(4) 作業項目、作業内容

① 計画・準備

作業項目	作業内容	作業数量
計画・準備	現地調査、資料収集、貸与資料の把握、作業計画の作成を行うものとする。	1式 当たり

② 劣化状況調査

作業項目	作業内容	作業数量
劣化状況調査	(1) 目視確認により劣化状況（写真撮影含む）を調査する。 (2) 吹付けアスベスト層の劣化現象は、「既存建築物の吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術指針・同解説（日本建築センター）」に準拠し、①層表面の毛羽立ち、②繊維のくずれ、③たれ下がり、④下地とアスベスト層との間の浮き・はがれ、⑤層の局部的損傷・欠損、⑥層の損傷・欠損とする。	1,000m ² 当たり
調査結果とりまとめ	調査結果の取りまとめを行うものとする。	1業務 当たり

③ 室内環境における濃度測定

作業項目	作業内容	作業数量
濃度測定	室内環境における石綿粉じんの濃度測定を行う。	1施設 (1回) 当たり
測定結果とりまとめ	調査結果の取りまとめを行うものとする。	1業務 当たり

④ 調査結果取りまとめ

作業項目	作業内容	作業数量
調査結果取りまとめ	(1) 調査結果に基づき、報告書を作成する。 (2) 経年変化が確認できるように、貸与資料を参考に過去の調査結果も併せて整理するものとする。	1業務 当たり

※1 歩掛算出にあたり、補正等がある場合は基準歩掛及び補正等を明記するものとする。

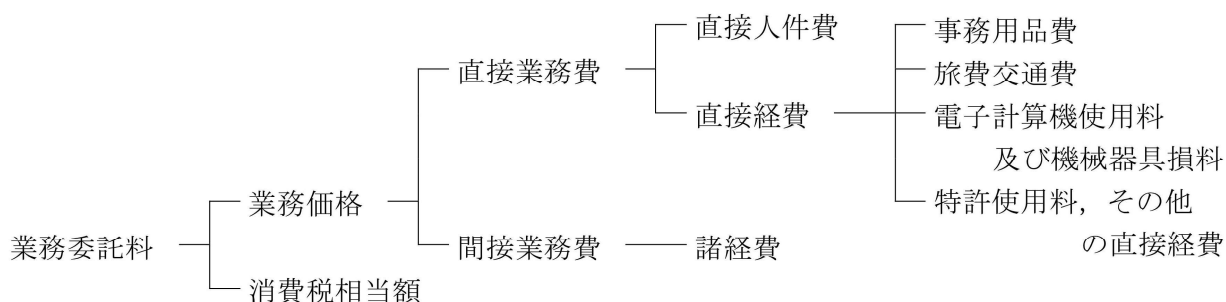
※2 上記以外にも補正等が必要な場合については、作業項目毎に基準歩掛及び補正等を明記するものとする。

(5) 業務費の構成と歩掛見積徴取範囲

① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（調査等編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。

② 歩掛参考見積の徴取範囲は基準書で定義されている直接業務費のうち、上記(3)「業務作業項目、作業内容及び作業数量」を実施する為に必要な技術者、資機材の人数等を徴取します。

③ （参考）積算体系



(6) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「平成 31 年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

- (1) 提出期間：令和元年 7 月 12 日（金）から令和元年 7 月 19 日（金）まで
持参する場合は、上記期間の土曜日及び日曜日を除く毎日、午前 9 時から午後 5 時まで
- (2) 提出場所：3. (3)に同じ。
- (3) 提出方法：3. (4)に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

- (1) 閲覧期間：令和元年 7 月 20 日（月）から令和元年 7 月 26 日（金）まで
- (2) 閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. 貸与資料等

本作業内容を実施するための貸与資料等は以下の通りとします。

- (1) 過年度の同施設アスベスト劣化状況調査業務の成果品（平成 31 年 3 月頃）
- (2) その他、調査職員が必要と認めた資料

9. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

10. その他

この歩掛参考見積を御提出頂いたことで業務等の指名、若しくは競争参加資格をお約束するものではありません。

(別紙)

見積書作成例

① 計画・準備

見積項目	単位	1 業務当り歩掛					機械 経費	通信 運搬費	材料費	補正率
		測量主 任技師	測量 技師	測量 技師補	測量 助手	測量 補助員				
計画・準備	業務									

② 劣化状況調査

見積項目	単位	1,000m ² 当り歩掛					機械 経費	通信 運搬費	材料費	補正率
		測量主 任技師	測量 技師	測量 技師補	測量 助手	測量 補助員				
劣化状況調査	m ²									
調査結果 とりまとめ	業務									

※移動に係るライトバンの運転費は含まないものとする。

③ 室内環境における濃度測定

見積項目	単位	1 施設 (1 回) 当り歩掛					機械 経費	通信 運搬費	材料費	補正率
		測量主 任技師	測量 技師	測量 技師補	測量 助手	測量 補助員				
濃度測定	施設									
測定結果 とりまとめ	業務									

※移動に係るライトバンの運転費は含まないものとする。

④ 調査結果取りまとめ

見積項目	単位	1 業務当り歩掛					機械 経費	通信 運搬費	材料費	補正率
		測量主 任技師	測量 技師	測量 技師補	測量 助手	測量 補助員				
調査結果 とりまとめ	業務									